

## 第1回函館市観光アドバイザー会議 会議録

- 1 日 時 平成17年9月14日(水) 14:00~15:45
- 2 場 所 アクロス十字街 大会議室
- 3 参集者 ・別紙出席者名簿のとおり  
・報道機関(NHK, 道新, 函新, 読売)

### 4 内 容

- (1) 開 会
- (2) 商工観光部長挨拶 **桜井商工観光部長**
- (3) 委員紹介 **川崎観光課長**
- (4) 委員長挨拶 **番匠座長**
- (5) 専門部会長の選出

#### **番匠座長**

- ・設置要綱の第4条第4項に「市長は、必要に応じて委員会に専門部会を置くことができる」とあり、既にハード系事業を討議する「第1部会」とソフト系施策を討議する「第2部会」が設置されている。
- ・委員の皆様にも、どちらかの部会に所属いただいているが、この専門部会を進めていくうえでは、議事進行などもあるので部会ごとに専門部会長をおくこととしたい。自薦他薦などあればご発言いただきたい。

#### **丸藤委員**

- ・観光基本計画を策定する際の専門部会長を、それぞれ星野さんと根本さんをお願いしたが、そのときの手腕からすれば今回もお願いするのが妥当と思うが。

#### **番匠座長**

- ・第1部会(ハード系)を星野委員、第2部会(ソフト系)を根本委員という意見がありましたがいかがでしょうか。

#### **(全員了承)**

**星野部会長** 挨拶

**根本部会長** 挨拶

(6) 資料説明 川崎観光課長

(7) 討 議

**番匠座長**

- ・この場で最初に確認しておきたいが、この会議の結果については取りまとめて、「答申する」ということでよいのか。

**川崎観光課長**

- ・答申というより、意見書という形で取りまとめていただきたい。

**番匠座長**

- ・資料では本日は部会のテーマを決めるとあるが、まずはご意見をいただいて、それをどちらの部会で検討するのか、私と事務局で決めるということでしょうか。(了承)
- ・できるだけ建設的、具体的なご意見をいただきたい。
  
- ・まずは私から話題提供したい。私、同窓会の幹事をしているが、どうせなら温泉に泊めたいと思うものの現実には、温泉旅館で一人一部屋というのは難しい。結局、ビジネスホテルになりそうなのだ。そこから考えてみると、ビジネスマンで仕事が終わって温泉に入りたいと思っている人は多いと思うので、温泉街にもビジネスホテルがあってもいいし、あるいは温泉旅館にもそのような部屋があっても良いと思っていた。

**鎌鹿委員**

- ・最近は一人一部屋でも泊めるところが多くなってきているが、函館ではまだそのようになっていないところが多いと思う。

**河内委員**

- ・言い訳になるが、昔は一部屋に複数名でなければ泊めなかつたが、今はそういうことを言っていられなくなってきており、一人一部屋で泊めるところも多くなってきていると思う。

### 星野委員

- ・ビジネスミーティングで函館は人気のあるところで、大体コンベンションには1人で来ることが多い。
- ・湯の川でも、実は（一人一部屋という）ご相談に応じられるというところもある。
- ・客はだめだろうと思いつつホテルに聞くのだが、良いケースもあるし、だめなケースもある。そういった情報はホテル側が一番多く持っているのだから、情報の開示をしなければならないと思う。
- ・一部屋に複数人泊めることができる（うまみのある）団体客を先にとって、部屋が余った時に個人客を泊めたい気持ちも分かるが、時期的予想を立てて、スペシャルプランなどを組むなど、いろいろなパターンがあることを情報発信できればよいと思う。

### 内村委員

- ・そうしたコンベンション需要の受け入れ施設であるコンベンションホールについて、来るべき新幹線のこともあり、もっとキャパシティの大きいものが必要になってくると思うので、部会での理解を得ながら検討を深めるべきと考える。

### 番匠座長

- ・私もそれは必ず盛り込もうと思っていたので、第1部会で検討していただければと思う。

### 土田委員

- ・コンベンションホールがないということで、他都市と競合した場合、函館が敬遠されている。
- ・学会などでは、一人一部屋というケースが多く、1,000人規模になると函館にはキャパがなくなるが、一人一部屋の客には駅前のビジネスホテル、家族連れなど2名以上の客には湯の川に泊まっていたりなど工夫している。
- ・最近、温泉付きのビジネスホテルもでてきており、いろいろなパターンに対応できるのが函館の特異性なのかもしれない。
- ・組織団体などの大会については、組織なのではじめから一部屋何名という形で部屋割りができる。

### 番匠座長

- ・コンベンションホールの問題点としては、稼働率や利用方法などを十分に考慮し、多面的に検討する必要があると考えている。

### 土田委員

- ・全国のコンベンションホールをみると、スポーツ合宿やコンサートができる多目的ホールの形が多い。
- ・あまり大きなものを考えると難しくなるので、2,000~3,000 ぐらいで、いろいろな文化人がコンサートやイベントなどを行えるぐらいが適当だと思う。

### 河内委員

- ・2,000~3,000 程度の大きさは私もいいと思う。そう考えた場合に、今の市民会館がだいぶ古くなってきているので、市民体育館を別のところ（合併した地域など）にもって行って、現在地に 2,000~3,000 の新しい市民会館を建設すればいいと思う。
- ・こういう委員会で具体的な案を提示すれば良いと思う。
- ・5,000 人とか 10,000 人とかは考えられないし、改めて 2,000~3,000 のものを作れば現在の市民会館の利用がなくなってしまうので、今あるものを作り直した方が良くと思う。
- ・今の市民会館が倍になったとしても、あの形であれば利用は少ないだろうから、やはり多目的でなければならないと思う。

### 番匠座長

- ・函館市の都市レベルに見合った大きさというものを考えなければならない。
- ・体育館もだいぶ老朽化してきていると思う。

### 内村委員

- ・体育館は、スポーツ施設が千代台に集約されているので、千代台か、あるいは 4 支所方面にもっていくしかないのではないのか。
- ・新潟のホールでは、宿泊施設が付設されたものもある。

### 番匠座長

- ・コンベンションホールがあれば、学会などをいくらでも呼んでくることのできる。函館はそういうものを呼ぶのに適しているところだと思う。函館にきたいという声は多々あるようだ。

#### 河内委員

- ・先ほどの話に戻るが、1人1万円で泊まれるホテルで、2人部屋なら2万円となる。じゃあその部屋を1人で泊まると2万円になる。ホテル側もそれはとれないからということで15,000円とかになってしまう。それをはじめから1万円で泊まれないという考え方をされると困る。
- ・ビジネスは7,000~8,000円、シティホテルは10,000円、湯の川に泊まるのは15,000円というような考え方をしていただければなと思う。

#### 丸藤委員

- ・コンベンションホールの関係だが、現実問題として函館で2,000~3,000人動員できるコンサートはあり得ない。今のホールでも、満席になるのは年に1回か2回だと思う。
- ・アーティストの話を見ると400~500人のホールで、いいものを聞かせるシステムが欲しいという。
- ・また、何千人の人が函館に来たときに、函館市民の印象が悪ければただ印象を悪くして帰るだけだ。
- ・コンベンションの場合、観光客とは違い、行きたいから来るのではなく、そこで開催されるから来るわけで、そういった人たちを函館の虜にさせるような、市民との交流などを考えておいた方がよいと思う。
- ・湯の川のホテルは若いカップルには印象が悪い、温泉はいいが、食事がまずい。という話を聞くことが多い。
- ・新幹線が来ると経済効果があるとよく聞くが、宿泊しないで次の目的地に移動する人も出てくると思う。わざわざ函館に泊まらなくてもいいようになってしまう。
- ・函館に泊まりたくなるような、心を癒す仕組みを作らなければならないと思う。
- ・私もまちかど案内所をやっているが、函館の人は函館を街を知らなすぎる。函館市の観光ガイドのような参考書なり虎の巻のようなものが必要だと思う。京都や東京でやっている検定などの制度があるが、そういうのも必要だ

と思う。

#### **番匠座長**

- ・函館の観光ガイドはバスガイドさんが持っているものが最高だと思うのだが、なかなか手に入らないらしい。

#### **阪口委員**

- ・私は函館にきてまだ日が浅いが、こんなにすばらしいところなのに、函館の人は自信を持っていない。地元の人が地域の情報を持っていないように感じる。地域の人が自分のいるところの、色々すばらしいところを知るとずいぶん変わってくると思う。
- ・私は函館に来る前は湯の川温泉があることを知らなかった。函館は夜景のイメージが強すぎて、温泉があることすら知らない。
- ・温泉にこんなに安く入れるということ自体がすごいと思う。

#### **丸藤委員**

- ・湯の川のホテルは若いカップルには印象が悪い、温泉はいいが、食事がまずい。という話を聞くことが多い。
- ・函館の食べ物に対する期待値が高いので、それ以上のものをださないといけない。ハードルが高いところで勝負しないといけないので大変だと思う。

#### **鎌鹿委員**

- ・同じ食事でも、仲居さんが少し説明を加えてくれるだけでずいぶん違ってくと思う。

#### **星野委員**

- ・先日モバイルバーカウンタープロジェクトというものをやって分かったことだが、あそこがシンボリックな場所であることを誰も教えていない。
- ・実はそういうところが函館にはたくさんあり、そういったことを“知らせる”情報戦略が必要だと思う。
- ・まずは函館市民が外に出てくるような仕組みが必要だと思う。

#### **石田委員**

- ・観光客をおもてなしする心ができていないと言うことは、そういう教育を子供にできなかった大人の責任だと思う。
- ・子供たちがそのような教育しか受けていないように感じる。
- ・函館は素晴らしいものを持っていることを大人が自覚し、子供たちにそれを伝えていかなければならないことを自覚しなければならないと思う。

#### **松木委員**

- ・数年前クリスマスファンタジーの時、大阪から2泊3日のパックで、1万8千円ぐらいのものがあつた。函館をこんなに安売りするためにがんばっていたのかととてもショックを受けた。
- ・湯の川温泉についても、情緒性が少し足りない気もするが、例えばこの時期には安く泊まれるといった情報の発信が必要だと思う。
- ・地位の人間たちが子供たちに教えていくような仕組み、例えば子供たちが自分で体験ガイドできるようなことをしたらいいと思う。

#### **番匠座長**

- ・何人かの委員から情報発信と言葉が出たが、裕福だと思われる年金生活者(ネットなどを使いこなせない)にどのように発信していくか、そういった面も考えなければならないと思う。

#### **鎌鹿委員**

- ・ホスピタリティに関することだが、以前、駅前の観光案内所が外国人観光客に対する接客がとても良く印象深かつた。ほんのちょっとしたことなのだが、本人がどれだけ自覚しているかの問題だと思う。
- ・お年寄りの人にインターネットの情報を教えてやれる仕組みを作れば大丈夫だと思う。また、会社がどれだけ社員に(ホスピタリティを)たたき込んでいるかだと思う。

#### **根本委員**

- ・政策的に子供たちに地域を知るような総合学習を組むことができないだろうか。地域の街づくりにもなると思う。
- ・また、地域の人々が函館をもっと理解し、それにプレミアがつくような地域のガイド検定などのシステムを構築すれば、ホスピタリティが向上すると思

うが。

#### **河内委員**

- ・愛想のいい子に事務仕事をたたき込むのと、事務仕事ができる子に愛想を教え込むのは前者の方が教えやすい。資質の問題でもあるが、そういう子を社会に送り出して欲しいと思う。

#### **番匠座長**

- ・ホスピタリティを持つと言うことは、人に対する思いやりを持つということである。最近殺伐とした世の中で、これまで日本全体がそういうしつけなり教育をしてこなかったと思う。

#### **二本柳委員**

- ・子供たちがもっと街を愛する（知る）ことが大事だと思う。子供たちに歴史や文化などを教えることが大事だと思う。
- ・市民が函館の街を知らなすぎるので、そういったものの向上策をシステムとして展開できないものかと考えていたところである。

#### **星野委員**

- ・水道局が作成したビデオ（水道の歴史）ですばらしいものがあるのだが、そういう公共資源が埋もれている。
- ・お年寄りに対するインターネットの情報を教えられる仕組み（人のクッション）が必要。

#### **番匠座長**

- ・それでは、本日出された意見を踏まえて、部会長と事務局とも打ち合わせて討議しテーマを決めさせていただきたいと思う。事務局から次回の日程をお知らせ願いたい。

#### **事務局**

- ・第2回目は11月中旬に開催する予定で、それまでに部会を2回程度開きたいと思う。

#### **鎌鹿委員**

- ・新しい観光入り込みの数字やアンケートなどを教えて欲しい。

#### **河内委員**

- ・湯の川温泉や市内ホテルの宿泊数を教えて欲しい。

#### **丸藤委員**

- ・パンフとマップを今度持ってきて欲しい。

#### **番匠座長**

- ・港湾計画におけるコンベンション施設の位置づけなど，他の部署での観光関連計画についても，抜粋資料を提出されたい。

#### **事務局**

- ・関係資料については，可能な限り集約し，提出させていただく。
- ・湯の川温泉街活性化推進懇談会が非常に盛り上がっているので，話題提供の意味からも関係資料を提出させていただく。

(8) 閉 会